

# 掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。  
 次回7月1日号の締め切りは6月10日(木)です。  
 詳しくは、本庁秘書広報課広報広聴係 ☎21-8182へ。

## 緩和ケアを考える『リボンの会』

『リボンの会』は毎月第2土曜に集い、一関地方のがん患者やその家族、市民ボランティア、医療関係者が共に寄り添う心で話し合い、悩みを打ち明ける場です。  
**◆日時**…毎月第2土曜14:00～15:30 ※6月13日(土)は薬剤師によるミニ講演会「最近の薬と上手な付き合い方」、交流会も同時開催  
**◆会場**…一関病院5階会議室  
**◎問い合わせ先**…一関病院医療相談室・小野寺 ☎23-2050

## 化学工学一関セミナー

**◆テーマ**…「グリーンケミストリー、環境を考える」  
**◆日時**…6月20日(土)13:10～17:00  
**◆会場**…一関高専第一講義室  
**◆内容**…東京工業大中野義夫教授による基調講演「ゲル構造体を反応場・分離場とする環境保全プロセスの開発」ほか  
**◆参加料**…1000円(学生は無料)  
**◆受付期限**…6月16日(木)  
 ※セミナー終了後、高専内萩友会館で懇親会も開催します(会費2000円)  
**◎問い合わせ先**…一関高専物質化学工学科・二階堂 ☎24-4700

## 第11回どんぐりの会チャリティー

『障害を持っておられる人達と、共に手を取り合った活動を!』をテーマに開催します。入場は無料ですが、チャリティーの収益金を社会福祉協議会に寄附します。  
**◆日時**…6月21日(土)10:00～15:00  
**◆会場**…真柴コミュニティセンター  
**◆内容**…「どんぐりの会」「地域活動支援センター一関」などによる舞台発表、お茶会、展示コーナー  
**◎問い合わせ先**…北岡 ☎25-3452

## 第32回萩荘野焼きまつり

不死鳥(火の鳥)をイメージし、「命」をテーマに開催します。  
**◆期日**…8月1日(土)・2日(日)  
**◆会場**…萩荘尾花が森キャンプ場  
**◆粘土の配布**…下記会場で2kg600円で配布(高校生以下は2kg500円)  
**◆粘土配布および作品制作会場**…「萩・夢創館」☎24-2325(6月6日(土)～7月5日(日)までの土曜・日曜、10:00～15:00)  
 ※作品制作または制作指導に関する問い合わせ・相談に応じますのでお気軽にどうぞ。  
**◆粘土配布のみ**…「じゃらんの森」☎24-2990(6月7日(土)～7月5日(日)までの火曜・水曜以外の11:00～17:00)  
**◆受付期限**…7月17日(木)  
**◎問い合わせ先**…同実行委員会・鈴木 ☎21-2859、萩荘公民館 ☎24-2325

## ストーリーテラー(素話の語り手)養成講座

ストーリーテリング(素話)は、物語を暗唱して聞き手に語りかけます。絵本の読み聞かせの垣根を越えて挑戦してみませんか。  
 おはなしの会TOMOが、市の地域おこし事業の助成を受けて行います。  
**◆開講日**…6月9日(土)(この日のみ託児あり)、11日(日)、7月3日(土)、7日(日)、18日(土)  
**◆会場**…一関図書館(6月9日(土)のみ一関市総合福祉センター)  
**◆内容**…講話、ストーリーテリングの実践とアドバイスの、発表会など  
**◆対象・定員**…初心者・15人  
**◆受講料**…1000円(初回に納付)  
**◆受付期限**…6月5日(木)  
**◎申込先・問い合わせ先**…一関図書館 ☎21-2147

## こども長唄三味線教室開講

文化庁の委託を受けた(財)伝統文化活性化国民協会からの助成を受けて行います。受講料は無料です。  
**◆開講日時**…6月7日(土)10:00～12:00、以降22年2月まで月2回程度実施  
**◆会場**…三糸会稽古場(一関駅東口N E C前)  
**◆対象・定員**…小・中学生、10人  
 ※楽器その他の用品は無料で貸し出し  
**◎問い合わせ先**…長唄三糸会・小岩 ☎23-0895

## 全国一斉清掃デー参加ボランティア募集

一関市倫理法人会では公共施設の清掃活動を行います。地元美化に協力して下さるボランティアを募集します。  
**◆場所・日時**…一関駅前北駐車場公衆トイレ・6月7日(土)6:00～、千厩町市営駐車場公衆トイレ・同14日(日)6:00～、  
**◎問い合わせ先**…同事務局(世嬉の一酒造(株)内) ☎31-2151

## みちのく「二夜庵」俳句大会

**【兼題句募集】**  
**◆当季雑詠**…未発表のもの3句一組  
**◆当句料**…一組1000円(小為替など)  
**◆受付期限**…8月31日(日)  
**【俳句大会】**  
**◆日時**…10月17日(土)受け付け10:00～開会11:00  
**◆会場**…一関市総合福祉センター  
**◆会費**…1500円(昼食代含む)  
**◆当日席題**…当季雑詠2句  
**◆投句締め切り時間**…11:00  
**◆選者**…小原啄葉さんほか  
**◎投句先・問い合わせ先**…第七回みちのく「二夜庵」俳句大会事務局(鈴木方) ☎24-3113千021-0902萩荘打ノ目46-6



石碑と五輪の塔が納められた菅公夫人の墓(東山町田河津竹沢地内)。平成7年、東山町の文化財に指定され、現在も市指定文化財として引き継がれている

# 菅公夫人の墓

# 文化財探訪

## 東山町

◎問い合わせ先  
 東山支所教育文化課

学問の神様として知られる菅原道真ゆかりの一族の消息は、全国各地に散見されますが、東山町田河津竹沢に、昔から「菅公夫人の墓」として地域の人々に親しまれている墓があります。  
 言い伝えによつて書かれたと思われる文書や、大正2(1913)年発行の「田河津村誌」には、次のように記述されています。  
 延喜元(901)年正月25日、右大臣の顕職にあつた菅原道真が太宰権帥に左遷されて筑紫に下るとき、その一族も諸所に配流されたが、御簾中(紀長谷雄卿の娘)は3人の子とも従臣菅原山城を伴つて東奥胆沢郡へ落ちてきた。同郡藤杜郷清水ケ在長者軍治兵衛尚利は四力所に配所を設けてそれぞれ住まわせることにした。母君の住んだところを母体、第一姉君のところを上姉体、第二姉君のところを下姉体、弟君菅秀才敦茂の配所の地を中野と名付けたという。  
 延喜3年2月25日、菅公が筑紫

で亡くなられたという知らせが、家臣大江麻呂によつてもたらされると、御台所は悲しみのあまりに病を發し、同6年9月12日母体で亡くなられた。42歳であったという。菅原山城がその霊を祭つた墓地が今の田河津竹沢で、石碑1基、五輪の塔2基が残っているが、文字はほとんど判読できないほどになつていふ。碑の近くには山城の屋敷跡および山城が使用したと伝えられる井戸がある。その子孫といわれ菅原の姓を名乗る家は十数軒あり、この一族は古来梅を食べない風習がある。  
 実際、子孫を名乗る菅原家では、大正ごろまでは梅干しを作らないし食べないといわれていました。  
 平成6年、この墓の存在を知つた太宰府39代宮司西高辻信良氏が門外不出とされる梅の木を菅公夫人の墓に自ら植樹し、同年鎌倉荏柄天神社、9年には京都北野天満宮からも梅の木が贈呈されました。日本三大天満宮から梅の木を贈られたことから、これを機に菅公夫人の墓周辺を整備し史跡の保存と活用を図ろうという気運が高まり、「菅公夫人の墓史跡保存会」が中心となつて、史跡周辺の整備と保存活動が行われています。なお、千厩町清水の安楽寺には、道真公の息子である敦茂公(菅秀才公)の精霊塔があります。

# 一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

**テラマ展 色川武大と阿佐田哲也の世界**  
 ■会期：6月7日(土)まで開催中  
**【関連行事】ジャズコンサート**  
 ■日時：6月7日(土)18時30分  
**和算講座初心者コース 楽しむ和算**  
 江戸時代出版された「勘者御伽双紙」を読み解きながら、庶民が親しんだ和算の世界を楽しみます。岩手県和算研究会会員が講師を務めます。  
 ■日時：初回6月13日13時30分～15時、以降12月まで全7回 ■定員：36人 ■参加費：無料  
**体験・刀の見方入門**  
 初めて刀に触れてみたいと思つている人を対象に、刀を実際に手に取つていただき、見方・見どころを解説します。  
 ■日時：6月21日(土)午前の部10時30分～11時30分、午後の部13時30分～14時30分 ■定員：各回一般10人 ■参加費：無料  
**講演会 近世の絵図は語る**  
 市内には、優れた絵図が残つていふ。絵図の読み解き方、その楽しみを第一線の研究者が語ります。  
 ■日時：6月28日(土)13時30分～15時30分 ■演題：近世の絵図は語る  
 近世絵図史料論の課題 ■講師：小野寺淳次城大教授 ■定員：100人 ■参加費：無料

# ふなの雫 二十三



長谷川清一氏

長く当市の歴史に残るであろう昨年の6月14日、当市の西部を震源とする岩手・宮城内陸地震が発生してからもなく一年になろうとしています。かつて体験したことのない激震により甚大な被害となりましたが、国、県をはじめ、多数の関係各位のご尽力により復旧作業は着々と進んでいます。被災された方々も生活再建に取り組んでおり、また、通行止めになっている国道342号が一関側から須川温泉まで通ずる日も、そう遠くはないものと期待しています。  
 日本列島はいつ、どこを震源とする地震が起きても不思議のない、地震列島ののだと改めて感じているところであります。  
 災害直後、いち早く救援に駆けつけていただいた自衛隊や各県の防災ヘリコプター、そして豊島区様をはじめ全国各地から多くの義援金をいただくなど、皆さんからの温かい心配りに感謝するとともに、「人情いまだ廃れず」の思いを深くしました。  
 多くの皆さんの思いに込めるため、一日も早い復旧・復興に尽くさなければならぬとの思いをいっそう強くしています。